



研究主題 **その子らしく学ぶ**



令和6年度 ご挨拶

令和4年度より、研究主題『その子らしく学ぶ』を掲げ、目の前の子どもの学びの姿から、何ものにも代えがたいその子ならではの学びの可能性を探り、今年度が3年次になります。

「個別最適化学び」「指導の個別化」「学習の個性化」が叫ばれている今だからこそ、「子どもの学びとは」という問いを教師自身が追究し続けることが求められているといっても過言ではありません。

本校では「とらえ、願い、かかわる」のサイクルで授業研究を行っています。その子をかたちづくるものや、その子の学びのありようをとらえ、その子に何を願い、どのようにかかわるのかと、授業を構想しています。その結果、新たな「とらえ」が生まれ、そこから再び「願い」「かかわる」へとつながっていきます。単元を通して、その子の学びは層のように蓄積され、最終的に単元を通した『その子らしく学ぶ』ありようが際だってくるのです。この過程で、子どもの姿と構想との間にズレが生じることは当然であり、そういった時には、「とらえ」が正しかったのだろうか、本当にこの「願い」でよかったのだろうか、あの「かかわり」でよかったのだろうか、教師自身が自分の子ども観や授業観を見つめ直すことが起きます。これを積み重ねること、その子への「とらえ」が深まり「願い」や「かかわり」も、よりその子に寄り添ったものになっていきます。

このように、『その子らしく学ぶ』を追究する研究は、子どもの『その子らしく学ぶ』ありようを明らかにすると同時に、私たち自身の授業力を問い直すことに他ならないという覚悟で臨んでいます。

公開授業や研究協議会を通して、皆様とともに『その子らしく学ぶ』についての考えをさらに深めていきたいと思います。忌憚のないご意見、ご指導をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



校長 山田 卓

教科部	氏 名	共同研究者	助言者	協力委員	所属学校
国語	浅羽 富大	静岡大学教育学部 教 授 坂口 京子	島田市立島田第一中学校 校 長 村田 一史	森本 健一	富士市立富士第二小学校
	柴田 将弥			坂部 貴之	島田市立五和小学校
	青山 千秋			亀山 幸平	静岡市立長田南小学校
社会	水嶋 俊介	静岡大学教育学部 准教授 村井 大介	文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 磯山 恭子	長谷川翔太	吉田町立中央小学校
	原 亨介		旧 川根本町立中川根第一小学校 元校長 石原 一則	下山 智士	御殿場市立御殿場小学校
	坂井 遥		山崎 翔平	静岡市立城北小学校	
算数	濱口 大資	静岡大学教育学部 教 授 松元新一郎	静岡市立安西小学校 校 長 高橋 文乃	北原 崇	静岡市立両河内小中学校
	田中 泰慈			栗田 勤	静岡市立千代田東小学校
	渡邊 賢人				
理科	後藤 大紀	静岡大学教育学部 准教授 郡司 賀透 准教授 内山 秀樹	静岡市立安倍口小学校 校 長 森竹 高裕	深澤 健太	藤枝市立葉梨西北小学校
	刑部 和宏			花島 佑	沼津市立金岡小学校
	相馬 一允			河原崎智成	藤枝市立大洲小学校
生活	佐藤 貴博	静岡大学教育学部 教 授 田宮 縁	牧之原市立勝間田小学校 校 長 原田 正裕	巽 多真美	静岡市立清水袖師小学校
	吉田 健人			福井 祐香	藤枝市立高洲南小学校
音楽	山村 光稀	静岡大学教育学部 准教授 長谷川慶岳 准教授 後藤友香理	静岡大学 名誉教授 北山 敦康	絹村 倫世	吉田町立自彊小学校
	渡邊 莉加			細川結加奈	静岡市立清水岡小学校
家庭	村松 育実	静岡大学教育学部 教 授 村上 陽子	静岡市教育センター 指導主事 筒井 祥代	榛葉 愛実	島田市立初倉小学校
図画 工作	渡邊 翔太	静岡大学教育学部 准教授 高橋 智子 講 師 名倉 達了 講 師 占部 史人	吉田町立中央小学校 教 頭 杉山 哲也	栗田 真菜	下田市立大賀茂小学校
	下出 菜摘			永井友紀子	島田市立六合中学校
体育	望月 拓馬	静岡大学教育学部 准教授 野津 一浩 講 師 屋代 滯	静岡市立長田東小学校 教 頭 黒柳 哲也	小笠原慎哉	静岡市立千代田東小学校
	河野 優人			長谷川飛太	焼津市立和田小学校
	赤渕 航史			岡田 結一	富士市立伝法小学校
学校 保健	松下 萌	静岡大学教育学部 教 授 鎌塚 優子	静岡市教育委員会 児童生徒支援課 指導主事 渡邊 睦美	泉 菜々子	静岡市立伝馬町小学校
				小野 生吹	静岡市立清水有度第二小学校
全体共同研究者		慶應義塾大学 教授 鹿毛 雅治	静岡大学教育学部 教授 村山 功		

今年度は上記の共同研究者、助言者、協力委員の方々と研究を進めています

新研究主題

その子らしく学ぶ

私たち静岡大学教育学部附属静岡小学校の研究は、「子どもは自らの内に伸びようとする芽をもっている」という子ども観と、『とらえ・願い・かかわる』ことが、子どものもつ芽を支えるための教師の役割である」という教師観に支えられています。

このような教育観のもと、本校は研究主題『その子らしく学ぶ』を掲げ、授業実践を積み重ね、目の前の子どもと真摯に向き合って参りました。そうして『その子らしく学ぶ』子どもの姿を追っていく中で、子どもには、その子の価値観、見方や考え方などの、その子の背景にあるもの、その子をかたちづくるものなどが「その子らしさ」として存在し、それらが自然とにじみ出たり、それらを発揮したりしながら対象にはたらきかけ、目的に向かって前進していくことが分かりました。また、目の前の材や事象などの対象を自分自身と結びつけ、意味付けながら学んでいくことが明らかになりました。そして自分と対象とを結びつけながら進んでいく子どもの学びのプロセスを見つめていくと、様々な価値や可能性が見えてきました。

各教科部の考える『その子らしく学ぶ』についても、子どもの姿を根拠にその具体を徐々に明らかにしていこうとしています。ある社会科の授業で、初めて出会う人の境遇や思いにふれて心を動かされ、身近とはいえなかった社会的事象をぐっと自分に引きつけて学んでいく子どもの姿がありました。そこから私たちは、子どもの「心の動きを伴う経験によってその子に還るもの」を見つめていくことで、この研究の一つの価値を見出すことができるのではないかと考え、研究3年次の方向性として進んでいます。

本年度は、国語科や体育科による大研、各教科部による教科研や研究協議会の開催を予定しています。ご参会の皆様と、目の前の子どもを共に見つめ、子ども本来の魅力や授業での教師の在り様について語り合うことができれば幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



研究部長 佐藤 貴博

【学術リポジトリのご案内】

研究2年次の社会科部による大研2、4年社会科「汽笛よ 再び～大井川鐵道がつなぐもの～（わたしたちの県のまちづくり）」のまとめ、研究3年次の生活科部による大研1、「スティックでステキな遊び場づくり（自然やものを使った遊び）」を静岡大学学術リポジトリ（SURE）にて公開しています。また、本校のHPでも昨年度までの実践についてご覧いただけます。ご興味のある方は、QRコードからご覧ください。



本校研究ホームページ



静岡大学学術リポジトリ

資料請求・問い合わせ先

静岡大学教育学部附属静岡小学校

住 所 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番94号
T E L (054)254-4666
F A X (054)254-4668
U R L <http://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shizusho/>
E-mail osizusyo@shizuoka.ac.jp

公開授業・講演会

□大研とは、本校の全教員で検討を重ねて創り上げる授業です。
■教科研とは、教科部で検討を重ねて創り上げる授業です。

日 時	事前説明会 開始時刻	授 業 開始時刻	語り合い 開始時刻	語り合い 終了時刻	教科	学年	授 業 者	形 態
6 月14日(金)	11：10	11：30	13：00	14：30	国語	5 年	柴田 将弥	□大研 2 本時Ⅰ
	10：00	10：35	11：30	12：15				□大研 2 本時Ⅱ
6 月21日(金)	講話 15：15 ～ 16：45						講師：鹿毛 雅治 氏 慶應義塾大学教授	
6 月28日(金)	12：40	12：55	14：20	16：00	図画工作	2 年	渡邊 翔太	■教科研
					算数	4 年	渡邊 賢人	
					理科	4 年	刑部 和宏	
					音楽	6 年	山村 光稀	
7 月 5 日(金)	12：40	12：55	14：20	16：00	体育	1 年	赤渕 航史	
					生活	2 年	吉田 健人	
					社会	4 年	坂井 遥	
					家庭	5 年	村松 育実	
10月11日(金)	研究協議会							
	【午前】提案授業（保健については午後の語り合いのみ）							
	教科	学年	授 業 者		教科	学年	授 業 者	
	国語	1 年	青山 千秋		生活	2 年	吉田 健人	
		5 年	柴田 将弥		音楽	1 年	渡邊 莉加	
	社会	3 年	水嶋 俊介			6 年	山村 光稀	
		未定	原 亨介		家庭	5 年	村松 育実	
	算数	2 年	田中 泰慈		図画工作	3 年	下出 菜摘	
		6 年	濱口 大資		体育	1 年	赤渕 航史	
	理科	3 年	相馬 一允			5 年	河野 優人	
		未定	後藤 大紀		学校保健		松下 萌	
	【午後】事後の語り合い・講演会							
	講演会「 演題未定 」						講師：鹿毛 雅治 氏 慶應義塾大学教授	
1 月31日(金)	11：10	11：30	13：00	14：30	体育	6 年	望月 拓馬	□大研 1 本時Ⅰ
	10：00	10：35	11：30	12：15				□大研 1 本時Ⅱ
2 月 7 日(金)	講話 15：15 ～ 16：45						講師：鹿毛 雅治 氏 慶應義塾大学教授	